

## 令和7年度 学校園の保護者等の参画のための会議(会議要旨)

○ 日 時:令和7年9月19日(金)18時00分~19時15分

○ 場 所:天王寺区役所 講堂

○ 出席者:[委員]

稲益委員(高津中)、西川委員(真田山小)、鳥山委員(天王寺小)、

西島委員(五条幼)、新井委員(大江幼)

[学校]藤原校長(天王寺小)、神田校長(夕陽丘中)、武村園長(生魂幼)

[教委]倉石係長(生涯学習担当)

[区役所]原田区教育担当課長、住田区教育担当課長、

近藤区教育担当課長代理、草川区教育担当課長代理

○ 議題

・天王寺区の教育に関する取組等について

・区青少年指導員連絡協議会について

○ 意見等:

・スクールカウンセラーの予約について、詳細に説明いただき安心した。今後も件数に見合う配置をお願いしたい。

→教育委員会と連携しながら、より充実した相談体制の構築に向けて取り組んでいく。

・五条幼稚園で防災訓練を実施。五条幼稚園は、上宮学園に避難となり、園児が頭巾をして、真剣に訓練する姿が印象的だった。

幼いころから、防災教育を行うことは大切と思うので、区役所でも積極的な働きかけをお願いしたい。

・児童の急増により、教室などハード面への懸念の声が高まっている。整備の対策はどのように考えているのか。

→特別教室を普通教室することが一般的である。真田山小学校と五条小学校は、学校選択制による受入抑止を行うことが決まった。加えて中学校では35人学級に編成していくことが求められている。いずれも区の現状を踏まえ、教育委員会と連携して取り組んでいく。

・児童増による登下校の見守り活動など、安全面の取り組みはどうなのか。

→安全面の取り組みとしては、日頃からはぐくみネット「見守り隊」の皆様が、登下校の見守り活動にご尽力くださっている。

・外国籍児童の増は推計が予測できないようで、事前対策が取りにくいと学校から聞いている。保護者としては、結果的に在校生の教育環境に悪影響を及ぼすのではと懸念している。

・外国籍生徒について、子どもの話によると、都合が悪くなると母国語で話すことがあり、教師が翻訳機を用いて対応しても正確なやりとりは困難である。今後、語学の専門家を配置することは重要と考える。

児童・生徒増に対して、増改築をすれば、数年は対応出来ると思うが、いずれ厳しくなることは予測出来る。

区としては、学校を新設するなど、具体的な対策を講じているのか。

→学校の新設は、学校として利用できる土地が必要で、区内にそのような場所はなく、現状の学校数で増改築をしながら対応することが現実的である。

一方で、市が管理する区内の未利用地を学校の運動場等に利用することは出来ないものか、検討を始めている。